

今週のメニュー

[トピックス](#)

「調べてわかるプラスチック」発行

- 中学1年生の理科にプラスチック授業が必須 -

[随想](#)

インテリア紀行 (No.5)

- ナポレオンはシックハウス症候群の第一号患者 -

インテリア文化研究所 代表 本田 榮二

[編集後記](#)

トピックス

「調べてわかるプラスチック」発行

- 中学1年生の理科にプラスチック授業が必須 -

学習指導要領で、平成24年度から中学校1年生の理科学習に「プラスチック授業」が1時間必須になることから、日本プラスチック工業連盟、社団法人プラスチック処理促進協会、塩化ビニル環境対策協議会と当協会が集まり、先生向けのワークノートを作ることになりました。この分野で多くの教材を発行している大日本図書に東京大学の渡辺正先生を通じてお願いしたところ、快く引き受けて頂きました。

一方、東京都中学校理科教育研究会では先行して、プラスチックの授業をどう進めて行くかが話し合われ、既に実験的な試みと必要な補助教材を作られていました。その中心で活躍されていた山口先生(品川区立豊葉の杜中学校)が授業を行う先生の視点で貴重な助言と具体的な実験の進め方についての資料を提供されて、具体的なワークノートの概要が出来上がってきました。

プラスチックは既に身近に使われ、生活に欠かせないものになっていますが、その安全性や廃棄の問題、原料である石油資源の課題などにも触れ、いろいろな種類のプラスチックの違いを見分けて科学的に理解する力を養っていくことを願って作ったものです。

構成は大きく二章に分かれ、「プラスチックを調べる実験活動」と「プラスチックの基礎知識」について、グラフ、表、写真を多用して分かりやすく説明しています。主なプラスチックとして、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリ塩化ビニル、ポリスチレン、ポリエチレンテレフタレートを取り上げ、自動車や宇宙で貢献するプラスチックにも言及しています。B5サイズの24頁とコンパクトに仕上がりに、先生方のワークノートとして利用しやすいものになりました。

4月に完成し、大日本図書から全国約3000校の中学校へ配布が始まり、発行に協力した関連団体からも無料で配布しています。是非、一読され、教育現場で活用して頂きたいと関係者一同願っています。(了)



[ダウンロードできます](#)

インテリア紀行 (No.5)

- ナポレオンはシックハウス症候群の第一号患者 -

インテリア文化研究所 代表 本田 榮二

、アレクサンダー大王・シーザー・ナポレオン

「貴方はこの事実に驚愕する！」、映画のキャッチコピー風に表現するところなる。この事実とは、フランスが生んだ英雄ナポレオン・ボナパルトに関する「最大の謎」と言われる彼の死因だ。

さて世界史に名を残す英雄を歴史順に3人挙げるなら、誰もが最初に「敵陣営をアツと言わせた長槍の歩兵部隊」と「パンガイオン金山から出る金で鑄造したスタテル金貨」を武器に空前の大帝国を打ち立てたギリシャ系マケドニア人のアレクサンダー大王を思い浮かべるだろう。

次に「賽は投げられた！」、「来た・見た・勝った」、「ブルータスよ、お前もか！」という有名な言葉を残し、絶世の美女クレオパトラと世紀の恋愛劇を繰り広げたローマの執政官ユリウス・シーザーではなかろうか。

そして三人目がフランス革命の渦中に登場し、「我輩の辞書に不可能という文字はない」と自信満々に呟きながら欧州を席卷したコルシカ島出身のフランス皇帝ナポレオンだろう。



アルプス越えのナポレオンの肖像

今回の主演ナポレオンが如何に凄い英雄かという、珍妙な比較で恐縮だが、仮に東京・パリ・ニューヨークの3都市で地元の大学生各10人に「織田信長と豊臣秀吉を知っているか」と質問した場合、「知っている」と答えるのは、おそらく日本の大学生10人だけだろう。では次に「ナポレオンを知っているか」との質問には、30人全員が知っているという答えに違いない。

、ナポレオンの公式死因は胃ガン

1821年5月5日、ナポレオンは流刑先のセントヘレナ島で51歳の生涯を閉じた。セントヘレナ島はアフリカ西海岸にあるアンゴラの沖合2000kmの大西洋上に浮かぶ絶海の孤島である。現在でも飛行場がなく、新聞は6週間遅れ、テレビもようやく7年前に見られるようになったばかりである。訪れるには南アフリカのケープタウンから片道5日の船旅を覚悟しなければならない。

ナポレオンは島の『ロングウッド・ハウス』と呼ばれる厩舎を改造した館で亡くなった。死因は担当医アントンマルシによる遺体解剖の結果、胃ガンということになっている。欧州を席卷した英雄の死で、おまけに流刑先は敵国である英国の監視下にあった。当然、敗戦国フランスを中心に「毒殺ではないか」



玉座のナポレオンの肖像

という疑念の声が噴出する。誰が考えても当然で、疑問を感じない方がおかしい。だが確たる証拠がないため、疑念の声も時間の経過と共に沈静化していく。

しかし数年前に英国ハウエル原子力センターがナポレオンの遺髪を分析したところ、大量の砒素ひそが検出されたことから砒素による毒殺説が浮上する。だが冷静に考えると毒殺する必然性がない。何故なら欧州情勢はナポレオンの敗北で大勢が決し、「会議は踊る」で有名なウィーン会議でフランスに致命的な領土割譲や賠償金支払いが確定しているからである。これはいくら不死鳥ナポレオンといえどもリベンジは不可能だ。一方、連合軍側からしても毒殺は寝た子を起こす結果、即ち敗戦でシュンとなったフランス国民を再決起させかねないリスクを伴う。



ワテルローの戦いに敗れたナポレオンの肖像

、ナポレオンの愛した緑色の壁紙

真実の扉を開ける鍵は、ナポレオンの愛した緑の壁紙に潜んでいる。英雄色を好む(?)で、豊臣秀吉が「黄金色」を好んだように、ナポレオンは「緑色」を好んだ。当然、緑色の軍服に身を包み、壁面にも緑色の壁紙を貼ったりしている。

当時使用された緑色の顔料は「シェーレ・グリーン」と呼ばれ、化学方程式 $CuHAsO_3$ の亜砒酸銅である。この顔料を使用した壁紙は、当然のこととして残っていないが、ひょっとしたらドイツの古都アンスバッハの宮殿に残る1726年製の緑色の紙壁紙がそうかもしれない。

余談になるが江戸時代の19世紀、世界文化遺産に指定された『石見銀山』という商標の亜砒酸銅を使ったネズミ取りの薬剤が売られ好評を博した。名前の由来は石見銀山の銀を掘り尽くした後、そこで採れる鉱石から砒素を抽出したためらしい。もっとも砒素問題に造詣の深い神奈川大学の常石敬一教授によると、『石見銀山』の登録商標で売られていた薬剤の原料は、同じ島根県の津和野鉱山で採掘されたもので、20世紀に入るとより安全な黄リンを原料とするものに替わったとのことである。

さて砒素の英語名はアーセニック (arsenic) である。これはギリシャ語で「猛毒」を意味する言葉が起源だ。原料は鶏冠石けいかんせきや雄黄ゆうおうで、これらを採石する鉱山や砒素を取り扱う作業者の発ガン率が高いことは周知の事実である。この化学物質は紙や織物にゆるく結合するのが特徴で、当時それらを使用していた部屋では粉塵害が数多く報告されていたそうだが、これは正真正銘の重度の室内空気汚染だ。



砒素成分を含む鶏冠石

、ナポレオンは重度のシックハウス症候群患者

鮮やかな緑色を好んだナポレオンは、流刑先の自室に亜砒酸銅を顔料とする壁紙を張ったことが命取りになったと筆者は推理している。この壁紙は防虫効果もあり重宝されたようだが、防虫効果があるということは微量にせよ砒素が室内に放散していたことを意味す

る。したがって遺髪から大量の砒素が検出されたとしても何等不思議ではない。ナポレオンは、晩年になって鼻風邪や嘔吐等の症状を訴えていたそうだが、これは典型的な慢性砒素中毒の症状でもある。この前提に立つなら、ナポレオンはシックハウス症候群の著名人第1号患者ということになる。

もちろん今となっては、死因が慢性砒素中毒か、或いは砒素が原因の胃ガンか、それとも毒殺かを特定する術はない。だが、その難問を解く鍵がナポレオンの愛した緑色の壁紙にあることだけは間違いなさそうだ。事実は小説よりも奇なりである。

なおナポレオンの遺骸は、遺言どおりに自らが愛したフランス国民に囲まれ、セーヌ河畔にあるアンヴァリッド廃兵院のドームの下で今も安らかに眠っている。



パリの廃兵院にあるナポレオンの墓

(この項終わり)

前回：[インテリア紀行 \(No.4\) - リノリウム物語【後篇】 -](#)

編集後記

気温が上がってきて夏場の暑さが心配です。

我が家は何度か計画停電が実施されました。漠然とした停電のイメージが具体化した時に思った事は

「命がけ」 信号が消えていて警察官の誘導していない国道を横切るのは不可能。

「怖い」 真っ暗の道で動く物体発見。熊??ただ散歩している人です。

「真っ暗」 外を見ても何も見えない。まさに漆黒の闇。

「やることがない」 テレビも見れない、薄暗いろうそくでは読書も出来ない。

携帯電話のワンセグでテレビ見るくらいしかない。

「オール電化」 ガスなら料理は出来たな。オール電化がちょっと憎い。

電気がある生活が当たり前になっている自分を反省するとともに自分でも出来る節電を心がけたいと思います。でも停電はしないでほしいな。(リマル)

関連リンク

[メールマガジンバックナンバー](#)

[メールマガジン登録](#)、[メールマガジン解除](#)



編集責任者 事務局長 東 幸次

東京都中央区新川 1-4-1

TEL 03-3297-5601 FAX 03-3297-5783

URL <http://www.vec.gr.jp> E-MAIL info@vec.gr.jp